

2023年5月19日

新潟県教育委員会
教育長 佐野 哲郎 様

新潟県高等学校教職員組合
執行委員長 遠藤 丞

年度初欠員の解消ならびに休職者等に対する代替職員の確実な配置を求める要求書

日頃より本県教育の発展にご尽力されていることに敬意を表します。

さて、全国的に教員不足が問題となっており、22年1月発表の文科省による「『教師不足』に関する実態調査」では21年5月1日時点の教師不足の状況は定数の0.25%（2,065人）となっています。

22年度初における県立高校等の欠員は6人と貴委員会から報告され、結果的には年度末まで解消されませんでした。また、年度途中での休職者等に対する代替職員についても配置がされないとの報告が現場から相次いで寄せられ、23年度も同様の状況が続いています。

欠員、休職者等に対する代替職員の未配置は、業務負担の増加に更なる拍車をかけ職員の健康状態へ悪影響を及ぼします。佐渡島内の学校では数年にわたり国語科の欠員が解消されず、担当教員の授業時数の大幅な増加による負担だけでなく、授業展開数の縮小や免許外講師による授業対応など生徒の学習環境へも大きな影響が出ており、他地域においても、同様の相談が寄せられています。特に小規模校においては定数通りの教員数でも厳しい学校運営が余儀なくされているところに、欠員等生ずることは深刻です。

貴委員会は人事に関することは、管理運営事項とし、交渉事項ではないとしていますが、人事配置の責任を全く果たしていないことは許されない事です。さらに、教職員定数は「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」で定められていることから法に基づく配置ができていない、さらにその状況を放置していることは法令違反であり、貴委員会の法令遵守の意識を疑わざるを得ません。

つきましては、以下の点について要求いたします。早期の協議の場を設定し誠実に回答いただきますようお願いいたします。

記

1. 23年4月1日時点、5月1日時点の欠員状況および休職者等に対する代替職員の未配置状況を明らかにすること。
2. 欠員や休職者等に対する代替職員の未配置状況を早期に解消するための具体策を示すこと。
3. 臨時職員等募集期間中については、貴委員会から職員派遣を行うなど、現場の負担軽減をはかること。

以上

230617 支分代資料

4月支部執・5月支部執・女性部総会情報集約

校名	4月	5月	備考
新潟西		情報（非常勤対応、4月は別の授業をしていた）	
新潟商業		4月に教諭1人減（非常勤2人で対応）	
巻総合		国語（非常勤対応）、工業	
新発田南		8月からの産休代替見つからない	
新発田 農業		農業科臨免対応 農業科非常勤に昨年度体育非常勤講師を配置	
村上		5月からの産休代替（非常勤3人で対応）	
荒川		非常勤1人辞めた（いじめ対策推進委員についていた）	
白根	再任用短時間急遽辞退（遠距離）		
村松	再任用フル 提示後辞退（遠距離）		
三条東		病休代替見つからない	
県央工業	数学科一人いない（事件案件）		
吉田	国語常勤急遽辞退 （4月中旬から非常勤？）		
加茂農林	農業科欠員 国語科非常勤見つからない（社会科免許で対応）		
燕中等		病休代替見つからない 非常勤講師退職（免許所有他教科職員が対応）	
向陵	再任用フルが4月途中で倒れた	復帰された	
長岡工業	工業2人国語1人欠員		
長岡商業	再任用が休職 非常勤対応 国語科講師（本来は理科）		
小千谷	国語常勤見つからない （非常勤対応）	国語教員引き続き非常勤	
小出	国語、体育欠員 （国語、保健 クラス合同で授業）	4月と変わらず国語1体育1 （大半のクラス2クラスを合同授業）	
六日町	理科欠員 （80人を1クラスで見ている）	理科欠員（非常勤見つかった？）	
塩沢商工	工業病休（代替未配置）	工業病欠	
松代	体育欠員（講師見つかった？）		
柏崎	理科1人欠員	理科1人欠員	
柏崎工業	工業1人欠員	機械科欠員（免許なし非常勤対応？）	
出雲崎		年度初から理科病休（非常勤対応）	
久比岐		教員1人休み	
佐渡総合		2年続けて国語1人欠員 今年度は理科も1人欠員	

230617 支分代資料

オンライン調査（3月末から5月上旬まで実施）

新潟江南	芸術に正規教諭がいなくなった（社会・芸術（音楽）2名減→保体1増）
新潟東	欠員については、事前に教科への打診はなく、3月23日の職員会議で知らされた。
村上	公民正規から再任用フル 英語再任用短時間2名から再任用フル1名
荒川高校	常勤講師→正規教諭は、養護教員
村上中等	再任用短時間2人のはずが、1名しか決まっていなかった。 明日より非常勤1名が補充されることとなった。
新津南	再任用フルタイム：教諭2 実教1 事務長1 再任用短時間： 教諭1
阿賀黎明	再任用フルタイムのうち2校兼務1名
長岡向陵	(1)病休 (2)地歴公民、理科、芸術で各1名ずつ
長岡明德	商業の正教諭が転出したが、常勤講師の配置のみであった
長岡工業	正規教諭欠員補充無し 非常勤での対応の可能性を校長は話している
小千谷	国語の正規教諭が配当されず、常勤講師になることになったが、県は見つける事ができず昨年退職された方を学校側がお願いして何とか引き受けていただいた（非常勤）。 県は一体何をやっているのか、採用計画からして出たら目であると感じた。
堀之内	常勤 社・家 再任用 国語 体育2 美術 商業
六日町	理科化学担当者の退職後、後任が決まらず欠員となっている。実習教員を除く理科は5名であり、今春の異動が4名であるなかで欠員が生じるという信じられない状況である。非常勤での対応もあるが、4月からは6単位のみ（10単位不足）6月から8単位分加わり14単位分の対応となる。45月は60人や80人の授業を予定している。
高田	常勤講師→再任用短時間1人
高田北城	保体：教諭→常勤 国語：講師→再任用 理科：講師→教諭 再任用：フルタイム 社、理 短時間 社
上越総合技術	常勤講師1名については、5月より常勤講師が配置される予定
新井	国語：教諭→講師 地公：常勤→非常勤+再任用短時間
有恒	再任用フルタイム（教諭1 養護教諭1 技術員1） 欠員ではないが（22年度 理科・情報兼務の教諭1 理科非常勤1 23年度 理科教諭1 情報、高田高校との二校間勤務（2時間））

230609 管理係折衝記録

要求書1～3

1. 回答

4月1日時点

10校13人（定数としての欠員（代替職員未配置含まず））

5月1日時点

5校6人 休職者に対する未配置4人

いずれ議会でも話すこととなると思うがそれまでは公表しないでもらいたい

2. 回答（解消の具体策）

採用検査の低倍率から、講師登録者の減少となっている。志願者を増やしていくことが必要だと考えている。隣接県、東京の大学を訪問し募集要項を配布している。退職者、免許保有者への働きかけもしている。引き続き講師の確保に務めていきたい。また、ハローワークにも求人をだしている。求人情報サイトも活用し全国規模での人材の掘り起こしもしている。

地域にもよるが、特に佐渡は厳しい。空っぽの桶を眺めて探しているような状況。

面接を行い、断らざるを得ない（採用できない）ケースもあることはある。

3. 回答（負担軽減）

負担となっていることは承知している。状況については随時校長から聞き取りをしている。展開授業の合同等の依頼はしている（あくまでも複数展開を合同にということ）。業務の削減、簡素化、効率化に取り組んでいく。

職員を派遣することは難しい。

その他

○複数展開の合同ではなく、2クラス合同で授業を行っていることについて

回答：よいことではないと思っているが・・・

40人以上で授業を行うことは原則できないという認識でよい

○講師が見つからず、1ヶ月間別の教科の授業を行っていたことについて

回答：承知している。

○校長が授業を行えないのか

回答：授業は行えないことになっている。

○再任用短時間の方が辞めた場合

回答：現制度では、代替職員は非常勤講師対応でしかできない。

非常勤講師に分掌業務を依頼できる制度でもない

○非常勤講師を多くつけることはできないか（正規教諭の負担軽減）

回答：ご意見としてうける。

○各校状況の情報提供

回答：校長から状況は確認しているが、貴重な情報として受け取る。